



シラバス

シラバス 2010 年度の講義概要のデータベースを検索します。

■学部・研究科	環	■時間割コード	64276
■科目名 サブテーマ	特別研究3 (コンクリート工学研究室)	■授業形態/単位	秋/3
■担任者名	<u>鶴田 浩章</u>	■クラス	
■講義概要	<p>コンクリートは、建設材料として基礎材料のひとつであり、多くの実績がある。また、機能も多様化してきており、産業副産物の使用や付加価値を持つコンクリートの開発などが盛んに行われている。その一方で、環境への配慮も不可欠で、機能の多様化や長期の使用による環境への影響についての検討も重要である。さらに、コンクリート構造物を長期にわたって使用することは循環型社会からの要請でもあり、劣化予測や維持管理計画などについても検討が不可欠である。</p> <p>本特別研究3では、上記のような設計・施工・維持管理等に関連するテーマに取り組むことにより、現状認識や問題発見・解決、結果の評価などの過程を通じて、自主的・継続的な学習により問題発見・解決能力、協調性、記述力、コミュニケーション力などを養う。そして、最終的な成果として、卒業論文を取りまとめる。</p>		
■講義計画	<p>各自の研究テーマに対して、定期的に状況報告や取りまとめ内容の報告を行い、関連する事項について議論を行いながら、卒業論文を仕上げていく。</p> <p>第1週～第2週: 進捗状況の報告と今後の方針 特別研究2の報告会での審議結果等を踏まえて、これまでの進捗状況を報告し、今後の方針やスケジュールを決定する。</p> <p>第3週～第9週: 実際の実験や解析を通して、現象の理解を進める 各自の研究計画に伴う実験を通して、建設材料に関する現象の理解を進める。継続して行う実験や解析について進める。</p> <p>第10週: 中間報告会 これまでの成果についての報告、質疑応答を行い、今後の検討についての議論を行う。</p> <p>第11週～第15週: これまでの成果を取りまとめながら、卒業論文を執筆する。 これまでの成果を卒業論文として、まとめていく。指導教員と議論をしながら、卒業論文を仕上げ、卒業論文の試問の準備を行う。</p>		
■成績評価の方法	<p>定期試験を行わず、出席・平常レポート・平常試験など(平常成績)で総合評価する 卒業論文の内容および書式(80%)、特別研究報告審査会の内容と質疑応答能力(10%)、研究に対する意欲、自立性、日頃の取り組み態度(10%)の3項目について評価し、合計60点以上をもって合格とする。</p>		
■教科書	<p>必要に応じてプリントの配布を行う。</p>		
■参考書	<p>土木学会 2007年版『コンクリート標準示方書』 設計編、施工編、維持管理編、規準編 西林新蔵・小柳 治・渡邊史夫・宮川豊章 編集 コンクリート工学ハンドブック 朝倉書店</p>		
■備考	<p>関連する学習・教育目標の項目: B,C,D,E,F(全て○) オフィスアワー: 随時実施. 予約することが望ましい。E-Mail: tsurutah@kansai-u.ac.jp 本研究室では、原則1人1テーマを担当するが、1人では対応できない実験や準備もあるので、仲間と共同で活動していくことが多くなる。それらの活動を通して、助け合いや仲間との協調の精神も身につけて欲しい。</p>		